

事業別評価調書 (チェックリスト)

整理番号	2	事業名	新斎場整備事業		補助	単独	地区名 (事業箇所名)	福島市渡利字仏根 地内		担当部課名	環境部 環境課																																																																																																				
評価を受ける理由	評価実施から5年経過し事業が継続中であるため。																																																																																																														
根拠となる項目	要綱 第3条第1項 (3) 評価実施から5年経過した時点で継続中の事業																																																																																																														
対応方針 (案)	継続																																																																																																														
1 事業の概要	(事業目的及び全体計画) (1) 事業目的 現斎場は昭和55年に改築後、36年を経過し、施設の老朽化が進むとともに、今後の火葬需要への対応が困難になると予想されることなどから、速やかに新斎場を整備する必要があるため進めるものである。 (2) 全体計画																																																																																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">項目/年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福島市新斎場基本構想策定</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業用地取得</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基本設計、実施設計策定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>火葬炉設備選定プロポーザル実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>造成工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築本体工事、各種設備工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>既存斎場撤去、駐車場整備等外構工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>												項目/年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	福島市新斎場基本構想策定	○	○	○								事業用地取得			○								地質調査				○							基本設計、実施設計策定					○	○					火葬炉設備選定プロポーザル実施					○						造成工事							○	○			建築本体工事、各種設備工事								○	○	○	既存斎場撤去、駐車場整備等外構工事										○
	項目/年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																																																				
	福島市新斎場基本構想策定	○	○	○																																																																																																											
事業用地取得			○																																																																																																												
地質調査				○																																																																																																											
基本設計、実施設計策定					○	○																																																																																																									
火葬炉設備選定プロポーザル実施					○																																																																																																										
造成工事							○	○																																																																																																							
建築本体工事、各種設備工事								○	○	○																																																																																																					
既存斎場撤去、駐車場整備等外構工事										○																																																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業採択年度</th> <th>平成24年度</th> <th>完成目標年度</th> <th>平成31年度</th> <th>用地着手年度</th> <th>平成24年度</th> <th>工事着手年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (百万円)</td> <td>5,282</td> <td>2,527</td> <td>506</td> <td>349</td> <td>108</td> <td>322</td> <td>1,748</td> </tr> <tr> <td>進捗率</td> <td>47.8%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												事業採択年度	平成24年度	完成目標年度	平成31年度	用地着手年度	平成24年度	工事着手年度	平成28年度	事業費 (百万円)	5,282	2,527	506	349	108	322	1,748	進捗率	47.8%	100%																																																																																	
事業採択年度	平成24年度	完成目標年度	平成31年度	用地着手年度	平成24年度	工事着手年度	平成28年度																																																																																																								
事業費 (百万円)	5,282	2,527	506	349	108	322	1,748																																																																																																								
進捗率	47.8%	100%																																																																																																													
2 事業の進捗状況	(整備の状況) 平成28年6月に新斎場建設地の造成工事に着手し、平成29年9月に完了した。 平成29年6月に、建築本体工事、給排水衛生設備工事、空調設備工事、電気設備工事、火葬炉設備工事が本契約となり、現在施工中である。 (事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し) 本事業は、現斎場を稼働させながらその北側に新斎場の建設を進めていくことから、周辺住民や現斎場利用者に対し、工事に伴う騒音・振動等に十分配慮する必要がある。 現在、計画通り進捗しているが、多くの工事を同時進行で進めることや、長期にわたる工事であることなどから、適切な進行管理を行い計画通りの事業進捗に努めていく。 (関連事業の進捗状況) 無し																																																																																																														
	評価 AA ・ A ・ B ・ C																																																																																																														

3
事業を巡る社会経済情勢等の変化

[事業に関する社会経済情勢] (特記すべき事項)
 (1) 変化の有無 有 ・ 無

 (2) 変化の内容
 わが国では、総人口に占める65歳以上の人口割合 (人口推計 H28.9.15) が27%を超え、平成48年(2036年)には33.3%に達し、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者となる超高齢化社会が到来すると推測されているなか、福島市の年間火葬件数は、平成52年(2040年)の「4,271人」が最大と予測され、1日あたりの最大火葬件数は「23件」と推測されており、現斎場での最大火葬能力(18件)を超えるため、増炉が必要となる。
参考元: H29 高齢社会白書、国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計
 ※前回評価時同様
 【年間火葬件数の予測】 単位: 人

	H32	H37	H42	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53
福島市	3,864	3,981	4,149	4,228	4,244	4,257	4,266	4,271	4,271	4,267

(3) 地域の協力体制等
 前回評価時以降も引き続き、地域住民のご理解とご協力をいただきながら進捗している。
 ○新斎場整備事業協議会
 構成員 : 渡利地区自治振興協議会・渡利地区町会連合会・渡利北部町内会・三本木町会各会長・副会長

 【開催経過】
 平成23年2月22日 ○協議会の設立
 平成24年6月6日 ○基本構想(案)
 平成24年8月28日 ○基本構想まとめ
 平成25年8月20日 ○環境影響評価の結果
 平成27年6月18日 ○基本設計の概要
 平成27年8月10日 ○基本設計の詳細
 平成27年12月25日 ○実施設計の概要
 平成28年5月16日 ○実施設計完了報告
 平成29年3月30日 ○造成工事の進捗
 平成29年8月29日 ○建築設備工事の概要

 ○渡利地区住民説明会
 平成22年2月14日 ○新斎場整備について
 平成22年4月25日 ○新斎場整備について
 平成24年6月26日 ○基本構想(案)
 平成24年8月25日 ○基本構想まとめ
 平成28年6月25日 ○新斎場の概要

[事業に関連する評価指標等]
 (1) 主要な評価指標の変化
 将来の火葬需要の増加に対応するため、火葬炉を現在の7基から10基に増やすことで、1日当たりの最大火葬能力が現斎場の18件から24件となり、平成52年の推測最大火葬件数(23件/日)への対応が可能となる。
 ※前回評価時同様

(2) その他特記すべき事項

評価 AA ・ A ・ B ・ C

事業別評価調書 (チェックリスト)

4	<p>【地元住民・受益対象者の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の意向 平成24年8月までに開催した住民説明会において新斎場整備事業の推進を望む意見が多数寄せられるなど、当該予定地における新斎場整備については、地元住民の理解を得られた。</p> <p>(2) 評価実施時の意向 平成28年6月に住民説明会を開催し、事業概要や整備スケジュール、工事内容の説明等を行った。工事に係る要望等は出されたが、反対意見等は特に無く、地元住民の理解を得られた。</p> <p>【関係機関・団体の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の意向 ○葬祭事業関係者への意向調査の実施 (平成23年2月実施) 葬祭業者からは、駐車スペースの不足や諸室構成、動線の輻輳やアメニティ不足の改善等の意見があげられた。</p> <p>(2) 評価実施時の意向 ○葬祭事業者との打ち合わせ意向調査の実施 (平成27年8月実施) 駐車スペースの拡充やエレベーター等の設備の充実、利用者に対する場内案内表示の設置など、より具体的な意見があげられたほか、施設の老朽化に伴う空調の故障等により、利用上支障が発生しているため、早急に新斎場の整備を進めるよう求められた。 ○施設利用者団体との意見交換会の実施 (平成27年9月実施) 福島市仏教会の要請を受け、新斎場整備事業の概要について説明を行い、お別れ室や多目的室などの具体的な利用方法や火葬件数増加に伴うタイムスケジュールを検討する上での意見など、司祭者の視点から具体的な意見が出された。また、早急に新斎場の整備を進めるよう求められた。</p>	6	<p>【計画変更の必要性】</p> <p>(1) 必要性の有無 有・無</p> <p>(2) 計画変更の理由及び内容 運営形態について、現斎場では市の直営により運営しているが、市民サービスを低下させず且つコスト削減につながっていくよう、業務委託や指定管理者制度等による民間手法の導入を含め、他市の運営状況等を参考としながら引き続き検討していく。 ※前回評価時同様</p> <p>【代替案立案の可能性】</p> <p>【コスト削減の取り組み等】 (特記すべき事項) ①新斎場本体建設箇所について、建物の向きを変え、法面に向かって手前側に位置を変更し、造成量を減らすことで造成費用を削減した。 ②回廊の幅やドアの手動化など、あらゆる設備について根本から見直しを行い、建設費用の削減につなげた。</p>				
	評価 AA ・ A ・ B ・ C						
5	<p>【費用対効果分析】</p> <p>(1) 事業実施によってもたらされる効果、利益等の変化 ①火葬時間が短縮され、葬家の施設内滞留時間が短縮される。 ②友引の翌日など火葬予約が集中する日は、予約が取れないため葬儀日程を変更せざるを得ないケースがあるが、1日の火葬可能件数が増加することで、その改善が見込まれる。 ③駐車スペースの拡充やお別れ室の個室化等により、施設利用者の利便性が向上する。 ※前回評価時同様</p> <p>(2) 事業実施にかかるコストの変化 東日本大震災以降の復興需要等により、労務単価や建設資材費等が高騰した。</p> <p>(3) その他特記すべき事項 無し</p> <p>(4) 上記(1)～(3)を踏まえた分析 震災以降の復興需要等の影響による事業費拡大を抑制するため、利便性を損なわない範囲で事業内容の見直しを行う必要があった。</p>	7	<p>【総合評価と今後の事業の進め方】</p> <p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>現斎場は、昭和55年に改築したが、施設の老朽化が進んでおり、また、施設機能については、エレベーターを設置するなどの改善に努めてきたが、利用者の動線の輻輳の発生や慢性的な駐車スペースの不足など、施設の諸室構成等が利用者の需要に対応できていない状況にある。</p> <p>さらに、火葬炉内の様々な部分に経年劣化が認められるようになっており、現在の火葬能力では、今後増加する将来火葬需要への対応が困難な状況となることから現斎場を運営しながら早急な新斎場の整備を進めていくものである。</p> </div> <p>(2) 今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">対応方針(案)【再掲】</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>今後の事業の進め方</td> <td>今後も引き続き地元住民の理解を十分に得られるよう十分説明を行いながら、利用者のニーズに対応できる施設となるよう進めていく。</td> </tr> </table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p>	対応方針(案)【再掲】	継続	今後の事業の進め方	今後も引き続き地元住民の理解を十分に得られるよう十分説明を行いながら、利用者のニーズに対応できる施設となるよう進めていく。
対応方針(案)【再掲】	継続						
今後の事業の進め方	今後も引き続き地元住民の理解を十分に得られるよう十分説明を行いながら、利用者のニーズに対応できる施設となるよう進めていく。						
	評価 AA ・ A ・ B ・ C						